

坂東市新行政改革プラン2018-2021を策定しました

市では昨年度、まちづくりの展望を示した総合計画「ばんどう未来ビジョン」を策定し、現在この計画に基づき、各種施策を展開しています。このビジョンによるまちづくりを着実に実施し、効果をあげるため、第3次行政改革大綱・実行計画の計画期間を2年短縮し、昨年12月「新行政改革プラン」を策定しました。このプランにおける基本的方針や実行計画などについては、行政改革推進本部をはじめとした市内での検討のほか、市内の団体や企業の代表者で構成される行政改革懇談会のご意見などを踏まえ、内容を決定させていただきました。

■基本方針

- 改革の目標** 「みんなで取り組む スリムで質の高い行政経営」
改革の視点 ◎ムダやロスのない「量」の視点
◎満足度や成果を高める「質」の視点
◎みんなが関わり効果や負担を分かち合う「当事者」の視点

■改革の4つの柱

①「みんなでつくる」市政改革

市民や企業、団体などあらゆる主体が参加し、役割を分担しながら、能力を発揮してまちづくりを進める協働型の市政への取組を進めます。

- すべての市民が活躍し、ともに進める市政
- 市民に信頼され、開かれた市政
- 民間の力を活かした市政
- 外からの力を取り込み、連携する市政

《取組項目》

- ◆ 審議会などにおける女性委員の登用率の向上
- ◆ 効果的な情報発信体制の構築
- ◆ 連携協定を活用した防災体制の強化
- ◆ 関係人口を増やすシティプロモーション など

②「後世に負担を残さない」財務改革

人口減少時代に対応できる財政基盤を確立するため、歳入の確保や歳出抑制、将来負担の抑制に資する取組を行い、財政収支の健全性を高めるとともに、歳入に見合った歳出構造を構築します。

- 公平性と創意工夫で取り組む歳入改革
- コストを意識し、選択と集中による歳出改革
- 経営的視点で取り組む財産改革
- 総合的な財政構造の改革

《取組項目》

- ◆ 新たな広告財源の確保
- ◆ 定期イベントなどの事業評価
- ◆ 公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」の策定
- ◆ 地方公会計制度 など

③「おもてなし」を体現するサービスの改革

顧客である市民の視点に立った行政サービスを、効率的・効果的に提供できるよう、創意工夫のもと、継続的な改善を図るとともに、一人ひとりに寄り添う、心のこもったサービスを提供します。

- 便利で満足度の高い窓口サービス
- ICTなどを活用したサービスの向上
- 細やかで丁寧な市民サービスの提供

《取組項目》

- ◆ 坂東市子育て世代包括支援センターの開設
- ◆ 各種申請・手続きに関する利便性の向上
- ◆ ICT技術の活用による細やかな図書館サービスの提供 など

④「力強い市役所」をつくる組織と人材の改革

限られた行政資源を効率的・効果的に活用し、さまざまな行政（市民の）課題に対して、的確に対応する体制を確立するため、市役所の業務全般について見直しを行い、業務の最適化と人材・組織の活性化に資する取組を行います。

- 効率的に質の高い仕事をするための業務改善
- 意欲高く活躍する職員力の向上
- 変化に対応する組織力の強化
- 危機管理体制の強化

《取組項目》

- ◆ 業務の状況調査と総点検
- ◆ 接遇マニュアルに基づく対応の実施
- ◆ 組織・機構の改革
- ◆ 業務継続計画（BCP）の策定 など

■改革の推進について

新行政改革プランは、ばんどう未来ビジョン戦略プランとの連動を図るため、2018年（平成30年）～2021年（令和3年）を推進期間として全庁的に取り組むとともに、「行政改革懇談会」からご意見をいただきながら、継続的な見直しや改善を行い実施していきます。この見直しサイクルは、各課が定めた成果指標に基づき、目標の達成状況などについて毎年度評価を行い、実施します。

※このプランの概要版・本編については、市のホームページからご覧いただけます。

■お問合せ 企画課 ☎0297(21)2181